

**令和2年度～令和4年度 日本NGO連携無償資金協力**  
**サラワク州先住民族居住地域における水環境整備による生活改善事業**  
**「Michinoeki Sabal Market」開所式を開催**

・概要

日本マレーシア協会では、外務省の「日本NGO連携無償資金協力」による事業として「サラワク州先住民族居住地域における水環境整備による生活改善事業」を、同州サマラン管区スリアン地区の先住民族居住地域にて実施しました。最終年次の事業として、上記地区の国道沿い州有地に「道の駅」（村の産物販売用施設・公衆トイレ併設、367.8m<sup>2</sup>）アクセス道と駐車スペース（735m<sup>2</sup>）の整備工事を行い、2024年3月に完成しました。関係者と協議の上、施設は「Michinoeki Sabal Market」と命名され、3月後半に運営を開始しました。

・日本NGO連携無償資金協力による事業の趣旨と経緯

事業目的

サバル国立公園周辺地域は、州都クチンから約250キロ、インドネシア国境付近に位置し、主に先住民族のイバン族の小さな村々が点在する開発が遅れた地域です。サバル国立公園は、伐採跡地に自生した二次林を州政府が森林再生地に指定した保護林区内にあり、2018年に国立公園へと昇華した森林区です。本協会では、2011年からサラワク州森林局、マレーシア・サラワク大学、地域社会と協働し、同森林区でフタバガキ科在来種の植林による熱帯雨林再生活動を実施していますが、地域村落では水不足が生活を圧迫し、住民から水環境改善への要望が寄せられ、解決すべき課題の1つになっていました。

この課題を解決するため、外務省の「日本NGO連携無償資金協力」による「サラワク州先住民族居住地域における水環境整備による生活改善事業」を3年計画・2021年3月末～2024年3月末で実施し、初年次は「対象地域の調査・計画作成」と「コミュニティ導水システム造成等による対象村落の水環境を整備」を行い、二年次は「隣接地域における水環境の整備」と「水源地保全のための植林」を行い、三年次は「水環境の改善による生活余力を活かした村落での生活向上プログラム」と「環境教育及び衛生教育プログラム」と「水源地保全のための植林」を行いました。

そして、上記三年次の生活向上プログラムの一環として、水環境改善によって得られた生活余力により果樹・野菜の栽培や伝統菓子等の製造を行い、それを販売することで村落全体が参加して生活向上に取り組む活動を支援するため、村の産物販売用施設として公衆トイレも併設した「道の駅」を整備する運びとなりました。

・開所式の参列者

2024年4月27日（土）、「道の駅」の開所式を開催しました。当日は、マレーシア政府を代表して、ダト・スノーデン・ラワン・サラワク州観光・創造産業・芸術省副大臣（活動地域選出州議会議員）とダト・スリ・ドリス・ソフィア・プロディ連邦議会議員（活動地域選出）、在マレーシア日本政府機関を代表して、山下一義・在コタキナバル領事事務所長、本協会小川理事長のほか、森林局、森林公社、地区役所長、地域村落村長及び住民ら約300名が参加し、「道の駅」の本格オープン式典を行いました。

・「道の駅」開所式における日本マレーシア協会理事長の挨拶文

お集まりの皆様、こんにちは。私は日本マレーシア協会の代表である小川孝一です。

本日はダトー・スノーデンさんをはじめ、多くの皆様に参列いただき、ありがとうございます。

私たちの団体は1956年に設立されましたが、1995年からこのサラワク州で熱帯雨林の再生事業を行っています。

そのため、長い間、ダトスリ・アワンテンガさんやダトーレンさんにも大変お世話になってきました。

世界の中で、ブラジル・アマゾンとこのボルネオ島の熱帯雨林は世界の宝物です。

私たちは皆様と協力して90万本の木を植えてきました。

これはマダム酒井にお願いしてできたことですが、これまでの皆様のご協力にお礼を申し上げます。

森と水は人間の生活の基礎です。

日本でも川の水は生活用水として守っています。

協会はサラワク州でもこれまで2か所の小規模ダムと1か所の導水管の整備を実施して、「水の供給」を行いました。

そして、本日は「道の駅」を皆様にお渡しいたします。この地の作物の販売所として使っていただきたいと思っています。

また今年から10年間、毎年日本の学生が1回15名、年4回60名サラワク州に来て熱帯雨林再生事業を行います。

私は昨年11月にアンワール首相にお目にかかり、こうした熱帯雨林再生事業のご報告をし、ご理解をいただきました。

首相にはサラワク州政府の下で、地元の皆様、森林局、森林公社、サラワク大学のご協力で事業が順調に行っていると伝えました。

その際、首相から、「日本から学生が来るならマレーシアの学生も仲間に入れてほしい」とのご提案をいただきましたので、そのご提案を将来実施したいと思っています。

最後に、協会はマレーシアの本を翻訳して日本で発行しています。「ハラル」や「シャーリア法」「バンサ マレーシア」と言った本を出し、マレーシアの文化の紹介に努めていることも申し上げます。

マレーシアで木を植え、水を供給し、マレーシアの文化の紹介を日本にする、こうした努力をこれからも続けて参ります。

これからもサラワク州での協会活動へのご協力をお願いいたしまして、私のご挨拶といたします。どうもありがとうございました。

・ 写真（協会メンバーと村長ら、式典会場の外観）



・ 現地新聞記事のリンク（メディア名と URL）

・ Sarawak Tribune 4/30 付記事（Forest Landscape Restoration programme enhances lives of rural communities）

<https://www.newsarawaktribune.com.my/forest-landscape-restoration-programme-enhances-lives-of-rural-communities/>

・ Sarawak Tribune 5/1 付記事（Michinoeki Sabal Tamu set to boost local economy）

<https://www.newsarawaktribune.com.my/michinoeki-sabal-tamu-set-to-boost-local-economy/>

・ Dayak Daily

<https://dayakdaily.com/4-balai-ringin-villages-get-improved-water-access-thanks-to-japan-malaysia-association-sarawak-govt/>

・ Utusan Borneo

[https://www.utusanborneo.com.my/2024/04/30/kerjasama-malaysia-jepun-beri-faedah-kepada-rakyat-snowdan?fbclid=IwZXh0bgNhZW0CMTEAAR1jScJtJqZbvATWRMCEI-vCmF8eIvwsc2zZDIj24Liz5QXUDKf8IzvNfHs\\_aem\\_ARB8LrZU0vGXXwbHorQ9Nlou0SBXCZDwgHqFjttb3hXkGVipCngAnXhsD6nDgQiOKo4\\_7BWbB25CQ8d3aVMeHFrL](https://www.utusanborneo.com.my/2024/04/30/kerjasama-malaysia-jepun-beri-faedah-kepada-rakyat-snowdan?fbclid=IwZXh0bgNhZW0CMTEAAR1jScJtJqZbvATWRMCEI-vCmF8eIvwsc2zZDIj24Liz5QXUDKf8IzvNfHs_aem_ARB8LrZU0vGXXwbHorQ9Nlou0SBXCZDwgHqFjttb3hXkGVipCngAnXhsD6nDgQiOKo4_7BWbB25CQ8d3aVMeHFrL)

・ New Strait Times

<https://www.nst.com.my/news/nation/2024/04/1044666/new-japan-influenced-weekly-market-sarawak-officially-opens?>